

所沢市 ネイチャーポジティブ達成に向けた取組

オール東京62環境担当者研修会
令和5年9月26日(火)
所沢市 環境クリーン部 みどり自然課

目次

1. 所沢市の概要

2. 生物多様性保全の取組み

3. 生物多様性保全に関する3者協定

1. 所沢市の概要



地図出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp>)

1. 所沢市の概要



三富新田



菩提樹池



淵の森

2. 生物多様性保全の取組み

平成29年4月

所沢市みどりの基本計画改定

令和3年4月

生物多様性ところざわ戦略の策定

令和4年4月

30by30アライアンスへの加盟

令和5年5月

生物多様性保全に関する3者協定の締結



2. 生物多様性保全の取組み

緑地保全制度

◆法令

- ・特別緑地保全地区（都市計画法）
- ・市民緑地（都市緑地法）
- ・県立狭山自然公園（自然公園法）
- ・狭山近郊緑地（首都圏近郊緑地法）

◆条例【県】

- ・ふるさとの緑の景観地（ふるさとの緑を守り育てる条例）

◆条例・要綱【市】

- ・里山保全地域（ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例）
- ・市民の森（所沢市市民の森設置要綱）
- ・まちなかみどり保全地区（所沢市まちなかみどり保全地区設置要綱）
- ・みどりのエコスポット（所沢しみどりのエコスポット設置要綱）

3. 生物多様性保全に関する3者協定

「所沢市、株式会社NTTドコモ及び公益財団法人日本自然保護協会との
生物多様性保全に関する連携についての協定」

- ◆所沢市の生物多様性保全への企業参画・
取り組みの浸透、拡大
- ◆企業貢献度の見える化（証書化）



ネイチャーポジティブ



3. 生物多様性保全に関する3者協定

協定締結に至った経緯



生物多様性ところざわ戦略
30by30アライアンス

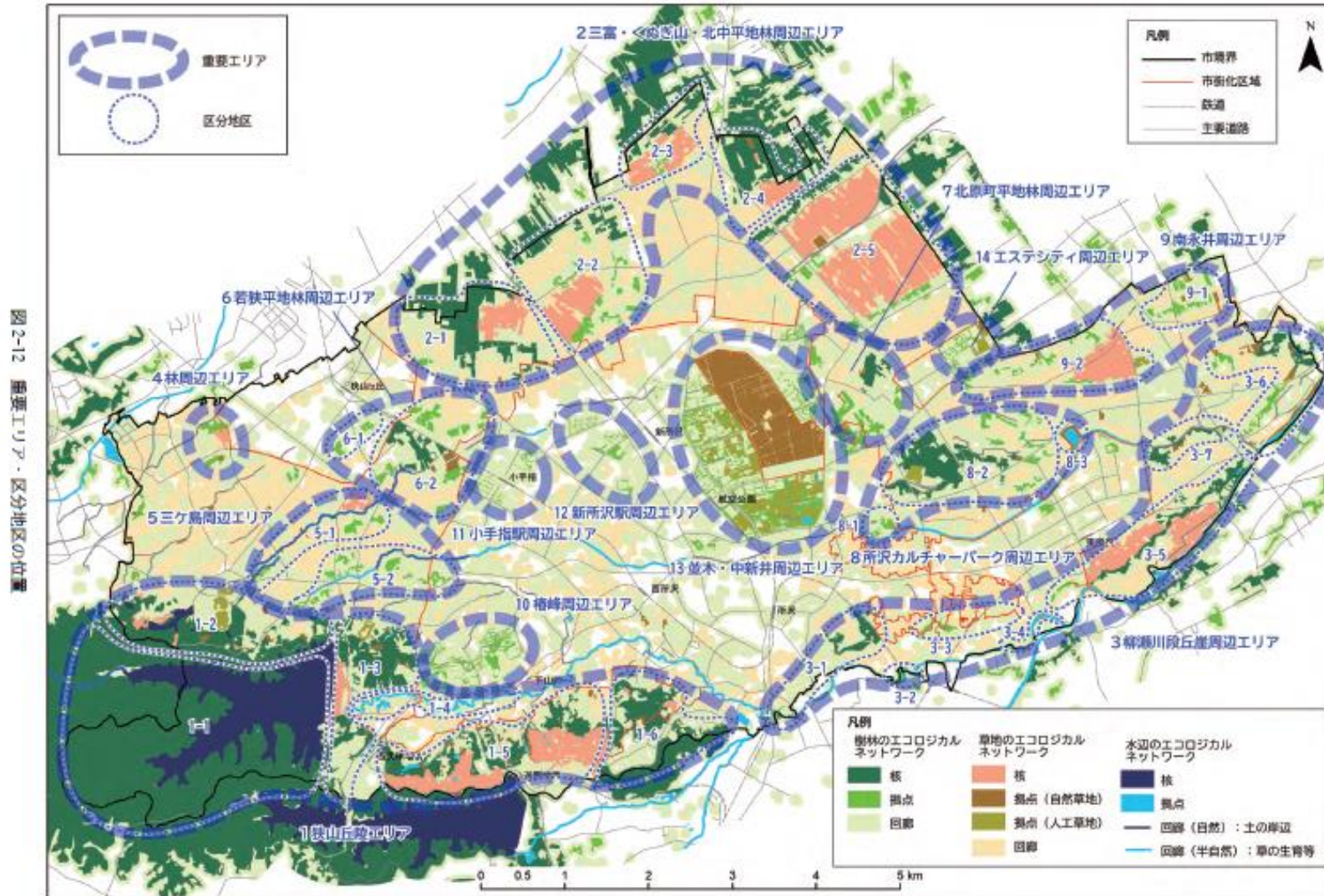


自然環境への知見
企業連携



Green Action Plan
ICT技術
ドコモの森

3. 生物多様性保全に関する3者協定



出典: 生物多様性ところざわ戦略

3. 生物多様性保全に関する3者協定

1 狭山丘陵エリア

1-5 菩提樹池・荒幡地区

柳瀬川右岸（南側）に尾根状に伸びる狭山丘陵の一部です。菩提樹池周辺をはじめ、複数の谷戸*環境が分布しています。[樹林・核]である地区の北側に連なる規模の大きな樹林や、ホンドキツネやキュウシュウノウサギが確認され[草地・核]として位置づけられるゴルフ場の草地、[水辺・拠点]である谷戸の小規模な池や湿地などから構成されています。樹林・草地・水辺ともに、良好な環境を指標する生きものが確認されています。

菩提樹池の周辺は公有地化*と民間トラスト地*、里山保全地域の指定により保全されています。また、荒幡富士の周辺は、公有地化のほか特別緑地保全地区*、保存樹林*の指定によって保全され、この2つの場所のほぼ中間の樹林が、公有地化*や、民間トラスト地*により保全されています。



■良好な環境を指標する生きものの確認状況

【樹林】 オオタカ ツミ キビタキ アオゲラ オオムラサキ コゲラ ゴマダラチョウ

【草地】 ホンドキツネ キュウシュウノウサギ ジャノメチョウ

【水辺】 ホンドイタチ カワセミ ミナミメダカ アカガエル類 ホタル類 トウキョウサンショウウオ アユ ウキゴリ

3. 生物多様性保全に関する3者協定

企業技術の活用案: AI判別によるいきものモニタリング(株式会社NTTドコモ)

◆メリット

- ・人の目では捉えていなかった生きものが見つかる可能性
- ・モニタリング作業の負担軽減

◆モニタリング対象案

- ・トンボ

種によって産卵場所が水中、水草、地面など様々である。

観測された映像から種を同定することでどのような湿地環境が存在するかを判別できる。

- ・アライグマ

モニタリング結果を外来生物防除につなげる。